

# 株式会社ハイドロウィングラボ

2026年第1四半期（2025年12月25日～2026年3月25日）

## 米国・欧州 再生可能エネルギー 四半期レポート

USA & Europe Renewable Energy Quarterly Intelligence Report

調査対象期間	2025年12月25日～2026年3月25日
対象地域	米国・欧州（EU加盟国・英国）
対象分野	太陽光 / 風力（陸上・海上） / 水力・揚水 / バイオマス・バイオガス / 地熱・海洋エネルギー / BESS（蓄電池）
除外対象	水素・燃料電池単独記事・日本・中国・その他アジア発の情報
情報源	IRENA / IEA / DOE / EIA / EU Commission / Reuters / S&P Global / Bloomberg
調査言語	英語（レポート本文は日本語）
発行機関	株式会社ハイドロウィングラボ
作成者	シニアアナリスト（エネルギーシステム開発歴35年）
発行日	2026年3月31日
定価	54,000円

本レポートは米国・欧州の英語公開情報（プレスリリース・政府文書・業界メディア・企業IR資料）に基づき独自に分析・編集したものです。  
投資・経営判断への利用は自己責任でお願いします。

## 目次

1	エグゼクティブサマリー	3
2	市場・政策動向	6
2.1	米国 --IRA・PTC/ITC・関税政策	6
2.2	欧州 --REPowerEU・クリーンエネルギー投資戦略	6
2.3	市場規模・成長見通し	7
3	技術動向（分野別詳細）	8
3.1	太陽光発電	8
3.2	風力発電（海上・陸上）	8
3.3	水力・揚水発電	8
3.4	バイオマス・バイオガス	9
3.5	地熱・海洋エネルギー	9
3.6	蓄電池・BESS	9
4	用途別動向	10
4.1	ユーティリティ規模プロジェクト	10
4.2	分散型電源・マイクログリッド	10
4.3	グリッド統合・電力市場	10
4.4	データセンターと再生可能エネルギー	11
5	主要ニュース詳細（地域別）	12
5.1	米国ニュース	12
5.2	欧州ニュース	15
6	主要企業動向	18
7	投資・M&A動向	19
8	技術・市場の示唆（シニアコンサルタント）	20
9	次四半期の注目ポイント	23
10	参考情報・主要情報源	24
11	免責事項	25

## 1. エグゼクティブサマリー

### >>四半期の重要トピック TOP7 (米国・欧州)

#	トピック	重要度	カテゴリ
1	米国で86GWの新規再エネ設備が2026年に稼働予定 --太陽光43.4GW+蓄電池24.3GWが牽引	最重要	太陽光/BESS
2	EU委員会がクリーンエネルギー投資戦略を採択 --EIB 750億ユーロ融資計画	最高	政策/EU
3	英国Hornsea 3 (2.9GW) 海底ケーブル接続完了 --世界最大の海上風力	最高	風力/海上
4	Trump関税が再エネ供給チェーンを攪乱 --ベトナム46%・カンボジア49%・中国145%	高	政策/米国
5	Fervo Energy 53MW商業EGS地熱発電所 --米国初の次世代地熱商用化	高	地熱
6	フランスが12GW海上・浮体式風力入札開始 --Made in Europeイニシアチブ	高	風力/海上
7	世界の再エネ設備容量が5,149GWに --2025年に692GW純増 (IRENA)	中高	市場全体

### >>四半期総括

2026年第1四半期の米国・欧州再生可能エネルギー市場は、「記録的な導入量」と「政策の二極化」という二つの大きな潮流によって特徴づけられた。米国ではEIAが2026年に86GWの新規ユーティリティ規模発電設備の稼働を予測し、過去20年で最大の単年導入量となる。太陽光が43.4GW、蓄電池が24.3GWを占め、テキサス州が全米の約40%を牽引する。一方でTrump政権の関税政策（ベトナム46%、カンボジア49%、中国145%）が太陽光パネル価格を押し上げ、海上風力ではTotalEnergiesに\$10億を支払って4GW以上のプロジェクトから撤退させるなど、政策の矛盾が浮き彫りとなった。

欧州では、EU委員会がクリーンエネルギー投資戦略（COM/2026/116）を採択し、EIBグループが3年間で750億ユーロ以上の融資を提供する計画を発表。英国Hornsea 3（2.9GW）の海底ケーブル接続完了、フランスの12GW海上風力入札開始、ドイツでの風力・太陽光の公共電力過半数達成など、大型プロジェクトが着実に前進している。蓄電池分野では、米国で24.3GWの新規導入が見込まれ、ESS用電池セルの供給過剰が始まり価格低下が加速。地熱分野ではFervo Energyの53MW商業EGSが2026年6月の稼働開始を予定し、24時間安定供給可能な再エネとしての地熱の価値が再評価されている。

## 1b. 再生可能エネルギー 分野別比較（米欧市場）

分野	主要プレーヤー	主用途	成熟度	四半期動向
太陽光	First Solar / NextEra / LONGi	ユーティリティ・分散型	商業期	米国43.4GW導入。モジュール65.5GW国産化。関税でコスト増
陸上風力	Vestas / GE Vernova / Siemens Gamesa	電力供給	商業期	PTC期限（2026年7月）で駆け込み。関税10%コスト増
海上風力	Orsted / RWE / Siemens Energy	大規模電力供給	成長期	欧州活発。米国は政策停滞。Hornsea 3前進
水力・揚水	Vattenfall / Rye Development	ベースロード・蓄電	商業期	米上院\$7,900万予算。揚水287MW連邦助成
バイオマス	Enviva / European Biogas Assoc.	熱供給・ガス代替	商業期	EU biomethane 14%増。仏バイオメタン混合義務
地熱（EGS）	Fervo Energy / Eavor	ベースロード電力	実証期	Fervo 53MW米国初商業EGS。DOE \$1.715億支援
海洋エネ	MeyGen / CorPower / Minesto	潮流・波力	実証期	英CfD 28MW落札。MeyGen 50MW拡張予定
BESS	CATL / BYD / Tesla / Trina Storage	RE統合・グリッド	急成長	米24.3GW導入。世界300GWh超。セル供給過剰

## &gt;&gt;重要マイルストーン展望（2026～2028）

時期	マイルストーン	企業/機関
2026 Q2	Fervo Energy Cape 53MW EGS商業稼働開始	Fervo Energy
2026 Q2	Hornsea 3（2.9GW）タービン設置開始	Orsted
2026 Q3	フランス12GW海上・浮体式風力入札結果	French Government
2026 Q4	EIB 750億EUR融資 初年度250億EUR執行開始	EIB / EU Commission
2026	米国ユーティリティ規模86GW稼働	EIA
2027	Hornsea 3完成・世界最大海上風力	Orsted
2027	ドイツRED III転換法案施行	German Government
2028	米国BESS累積導入100GW突破見込み	BloombergNEF

## &gt;&gt;四半期のキーワード・トレンド

トレンド	内容	影響度	今後の展望
記録的導入量	米国86GW新規稼働。太陽光5年連続最大電源。世界の再エネ5,149GW	最高	再エネが電力の主力へ移行中。データセンター需要が追い風
政策の二極化	米国は関税+海上風力撤退。欧州はEIB 750億EUR+12GW入札	最高	米欧の政策乖離が拡大。投資先の地理的シフトが加速
蓄電池革命	米24.3GW新規。セル供給過剰で価格低下。世界300GWh超	高	2028年頃に再エネ+蓄電池が多くの地域で火力より安価に

続きは製品版でご覧いただけます

データセンター 需要	Google/Microsoft/Amazonが再エネPPA大量契約。AI需要が電力需要を押し上げ	高	テック企業が再エネ市場の最大の需要家に成長中
---------------	---	---	------------------------

SAMPLE

続きは製品版でご覧いただけます

## SAMPLE VERSION

# 欧米 再生可能エネルギー産業 四半期レポート

本サンプルでは、全25ページのうち冒頭部分のみをご覧ください。

製品版には以下の内容が含まれます：

- エグゼクティブサマリー（完全版）
- 市場・政策動向の詳細分析
- 技術動向（種別・用途別の詳細）
- 主要ニュース詳細（月別整理）
- 主要企業動向
- 技術・市場の示唆（シニアアナリストコメント）

季刊単価（税別）

54,000円

ご購入・お問い合わせ

Email: [masa.ogawa@hydrowinglab.co.jp](mailto:masa.ogawa@hydrowinglab.co.jp)

Web: <https://www.hydrowinglab.co.jp/#reports>